

以上、本研究には検討すべき課題を残すものの、化学療法抵抗性に関与する細胞分化の不均一性を有する骨肉腫モデルを用いて、ROCK阻害剤は化学療法耐性骨肉腫細胞を脂肪細胞へ分化させて増殖を抑制するという、骨肉腫の新規治療法の可能性を示した点で有意義な研究であると高く評価された。